

大切なのは、みんなで話し、計画すること

家族と一緒に

わが家のオリジナル 防災マップを作ろう

地震や洪水のとき、どこに連絡をして、どこに避難するかを家族で話し合ったら、次は家の周辺や避難ルートをみんなで歩いてみましょう。地震のときに倒れそうなブロック塀や、大雨のときに水があふれそうなところ、マンホールのあるところなどを見てまわり、避難のときに役立つ自分たちのオリジナルマップを作り、みんながよく見えるところに貼っておきましょう。

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。家族みんなで災害のことや、避難所や避難方法、いざというときの連絡方法などを、普段から話し合っておきましょう。

作り方

準備物

- 地図
- 記録用紙
- 多色ペン
- ラインマーカー
- デジカメ
- メジャー(ひも)
など

地図のまわりに、デジカメで撮影した写真を貼って、説明を書くのもいいでしょう。

1 地図を用意

住宅地図をコピーしたり、白紙に手描きで道路を描いて、書き込み用ベース地図を用意しましょう。

2 自分の家と避難する場所に印をつける

本誌防災マップを見て、自分の家の周りの災害危険区域や避難所などを調べて書き込みましょう。

3 避難する道に色をつける

道が通れなくなることもあるので、3つぐらいのルートを考えましょう。

4 道路やまちの変化に応じて避難ルートを見直す

避難ルートを決めた後も、新しくできた道路などがあれば書き入れていきましょう。

5 家族がよく見えるところに、貼る

作ったマップは家族みんながよく見えるところに貼りましょう。

【チェック項目】

下記のことをチェックしながら、家の周辺や避難ルートを点検しよう

危険箇所

物が落ちてくる恐れ

- 墙の上やベランダに置いてある植木鉢
- 落下しそうな看板
- 道路ぎりぎりにある屋根の瓦
- 物を積み上げている所

Check!

物が倒れてくる恐れ

- ブロック塀
- 固定されていない自動販売機

ガラスが割れる恐れ

- ガラスをたくさん使った建物

土砂災害が起きる恐れ

- 土がむき出しの斜面やがけ

道が通れなくなる恐れ

- 狹い道
- 自転車などをいつも置いている
- 橋
- 行き止まり

冠水時に落ちる恐れ

- マンホール
- 溝、水路

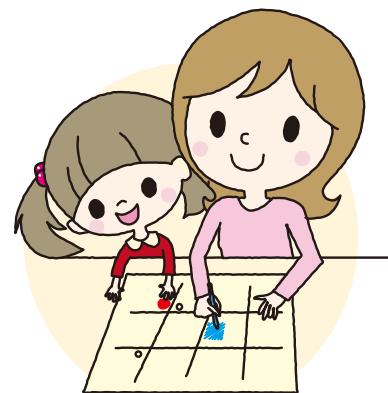
役に立つ場所 安全な場所

- 消火栓
- 防火水槽
- 井戸・水場
- 公衆電話
- 公衆便所
- 病院、医院
- 広い空間、広い駐車場
- 公園・広場



たとえば、こんなふうに
使ってみましょう！

家族構成や日ごろの行動パターンを考え、災害が起きたらどうなるかを想像しながら家族みんなで、防災の視点から現地をチェックしましょう。大人にとっては何でもない道のりでも、子ども1人で行くには遠くて危険、という場合もあります。新しい道や店舗ができたら、地図をメンテナンスしましょう。





いつも備えておこう わが家の 防災セット

災害が発生すると、水や電気、ガス、通信などのライフラインが止まる可能性があります。復旧するまでの水や食料、生活用品を常に備えておきましょう。また、災害発生後は避難所生活も考えられます。そのための非常用持ち出し品も用意しておきましょう。



1次持ち出し品 避難所へ行くとき

品名	備考メモ
懐中電灯	電池式は予備電池を忘れずに。1人1個がベスト。
携帯ラジオ	懐中電灯と一緒にラジオやハンドルを手で回すと電池のいらないラジオがある。
ろうそく・ライター	長時間の使用に適している。点火の際マッチより使い勝手が良い。
缶入り乾パン	最低限の食料として。
ペットボトル入り飲料水	水は「1人1日3㍑」の備えが必要だが、持ち運びの重量を考えると半分の「1人1日1.5㍑」が妥当。
救急セット・常備薬	防寒用としても使えるマスクを忘れずに。持病薬は処方箋のコピーも。
軍手・手袋	軍手は熱に強い綿100%のものを。皮手袋はガラス破片の片付けに役立つ。
レジャーシート	1人あたり1畳分程度ほしい。避難先のスペース確保に。
タオル	ケガの手当て、汚れの拭き取りなど用途は広い。少し多めに準備。
ポリ袋	大小あわせて。物を入れる、雨具の代用としてかぶるなど、汎用性が高い。
笛(ホイッスル)	居場所を知らせ、助けを求める手段。
現金(10円玉)	公衆電話用。100円玉があっても良い。テレホンカードは停電していると使えない。
筆記用具	メモ帳とペン。耳の不自由な方や外国人との意思疎通にも使う。
携帯用スリッパ	避難所で必要。海外旅行用の折りたためる携帯スリッパが便利。

その他に必要なもの

- 万能はさみ
- ロープ
- サバイバルブランケット
- 簡易トイレ
- 防災ずきん
- トイレットペーパー、ウエットティッシュ
- ガムテープ(布製)
- 油性マジック(太)
- はきもの



被災時・非常時の最初の1日をしのぐために必要なものを避難袋に入れ、場所を決めて置いておきましょう。

家族構成や、家庭の事情にあわせて 検討したいもの

必需品・貴重品 女性用品

- 現金
- 車や家の予備鍵
- メガネ・コンタクト等
- 携帯電話
- 通帳、印鑑
- 健康保険証、運転免許証
(コピーや番号の控え)
- 生理用品
- 鏡・ブラシ
- 化粧品

高齢者用品

- 高齢者手帳
- 着替え
- 持病薬
- 予備メガネ
- 介護用品

- 粉ミルク
- 哺乳瓶
- 離乳食
- 紙おむつ
- 母子手帳
- ベビーカー
- アレルギー対応食品

赤ちゃん用品



高松市の取り組み

住み慣れた地域で、安心して暮らしが
続けられる街づくりのために



高松市では、災害時などに備えるため、
お年寄りや体の不自由な方たちを対象に
「たかまつ安心キット」を無料配布しています。

申込方法など、その他の詳細は、
高松市のホームページをご覧ください。

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/18627.html>

いざというときのための 「たかまつ安心キット」

「たかまつ安心キット」は持病や障がいを持っている人などが災害に遭い、緊急の手当てや薬が必要になる時に備え、病名や服用している薬などの医療情報や、緊急時の連絡先などを記入した用紙をいれておく専用の容器です。

①「たかまつ安心キット」の保管場所は「冷蔵庫」です。

②冷蔵庫の扉に「たかまつ安心キット」のシートを貼ります。

冷蔵庫の扉に「たかまつ安心キット」が保管されていることがわかる専用のマグネットシートを貼っておきます。

③「たかまつ安心キット」は配布申込書の提出が必要です。

詳細は各地区コミュニティセンターに問い合わせてください。

④キットの中に入れるもの

- ①たかまつ安心シート(持病・かかりつけの医療機関・緊急連絡先などを記載したもの)
- ②写真(本人が確認できるもの)
- ③健康保険証(写し)
- ④診察券(写し)
- ⑤薬剤情報提供書(写し)・お薬手帳(写し)など

2次持ち出し品

避難所・自宅避難生活

避難後、安全を確認して自宅へ戻った際、避難所もしくは、自宅で避難生活を送るためにも最低3日間程度の備蓄品を備えておきましょう。

カテゴリ	チラク欄	品名	重要度	カテゴリ	チラク欄	品名	重要度
飲料	◎	飲料水(1人1日約3㍑)	◎	生活用品	予備電池		
	○	非常用給水袋	○		卓上コンロ・ガスボンベ		
	○	アルファ米	○		固体燃料		
	○	乾パン	○		鍋・やかん		
	○	インスタントラーメン	○		ラップ		
	○	缶詰類	○		タオル・バスタオル		
	○	レトルト食品	○		毛布		
	○	切り餅	○		雨具	○	
	○	即席スープ・みそ汁	○		皿・コップ(紙・ステンレス)		
	○	ビスケット・キャンディ・チョコレート	○		わりばし・スプーン		
衣類	○	塩	○		歯ブラシ・石けん		
	○	上着・下着・靴下 (下着類は綿100%より速乾性 の高機能繊維のものがよい)	○		携帯電話の充電器(電池式・手回し式など)		
					新聞紙	△	
					使い捨てカイロ		
					安全ピン		

重要度:◎必需品 ○備えておきたいもの △あると便利

無駄にならないおいしい非常食

温かい状態で食べられる発熱材付きのレトルトパックや、お菓子・パンの缶詰など、保存性はもちろん、味を重視した非常食が数多く市販されています。賞味期限を待たずに、ある程度時期が来たら、家族で防災について話しながら食べてみましょう。

非常持ち出し品、備蓄品は年に一度チェックし、電池や食品の期限を確認しましょう



普段から携帯電話、LEDライト、ホイッスル、筆記用具、水筒を持って出掛けましょう。笛(ホイッスル)は携帯ストラップとしてつけておくと痴漢、盗難などの防犯にも役立ちます。



枕元にスリッパ、懐中電灯、携帯ラジオ、笛(ホイッスル)を置いておきます。明かりのつく目覚まし時計も暗闇では役に立ちます。



水と日持ちする食料品は必ず常備しておきます。災害時、不足すると困るのは「水」。普段からお風呂の残り湯をためておきましょう。停電中は掃除機も使えないでの「ほうき・ちりとり」は必要。卓上コンロのガスボンベは多めに用意しておくと便利です。

非常時あると助かるすぐれものグッズ

たためるヘルメット

折りたたむことができ、収納しやすいヘルメット。強度はしっかりしていて、どこにでもしまっておけます。



水を使わないシャンプー

避難生活ではシャワーも使えない日が続きます。適量を頭にもみこむだけで、髪や頭皮のニオイをとってくれる簡易シャンプー。



災害用トイレ

避難先で最も困るのがトイレ。便座などにかぶせて使えるタイプ。吸水凝固剤でゼリー状に固まり、そのまま可燃処理が可能です。



高松市の備蓄について

地震等の大規模な災害の発生時には、食料供給の減少が予想されるほか、食料品の需要が一時的に高まり、一部の食料品が品薄状態や売り切れ状態になるおそれがあります。高松市では、県との連携、民間企業と協定して、3日分の水や食料、生活必需品などの物資の確保に取り組んでい

ます。現在、地域コミュニティセンターや小学校などを中心に水・食料や簡易トイレ、し尿凝固剤を備蓄しており、今後、新たな被害想定を基に、種類や数量、保管場所などを見直し、いつ起きるか分からない災害への備えを推進していきます。

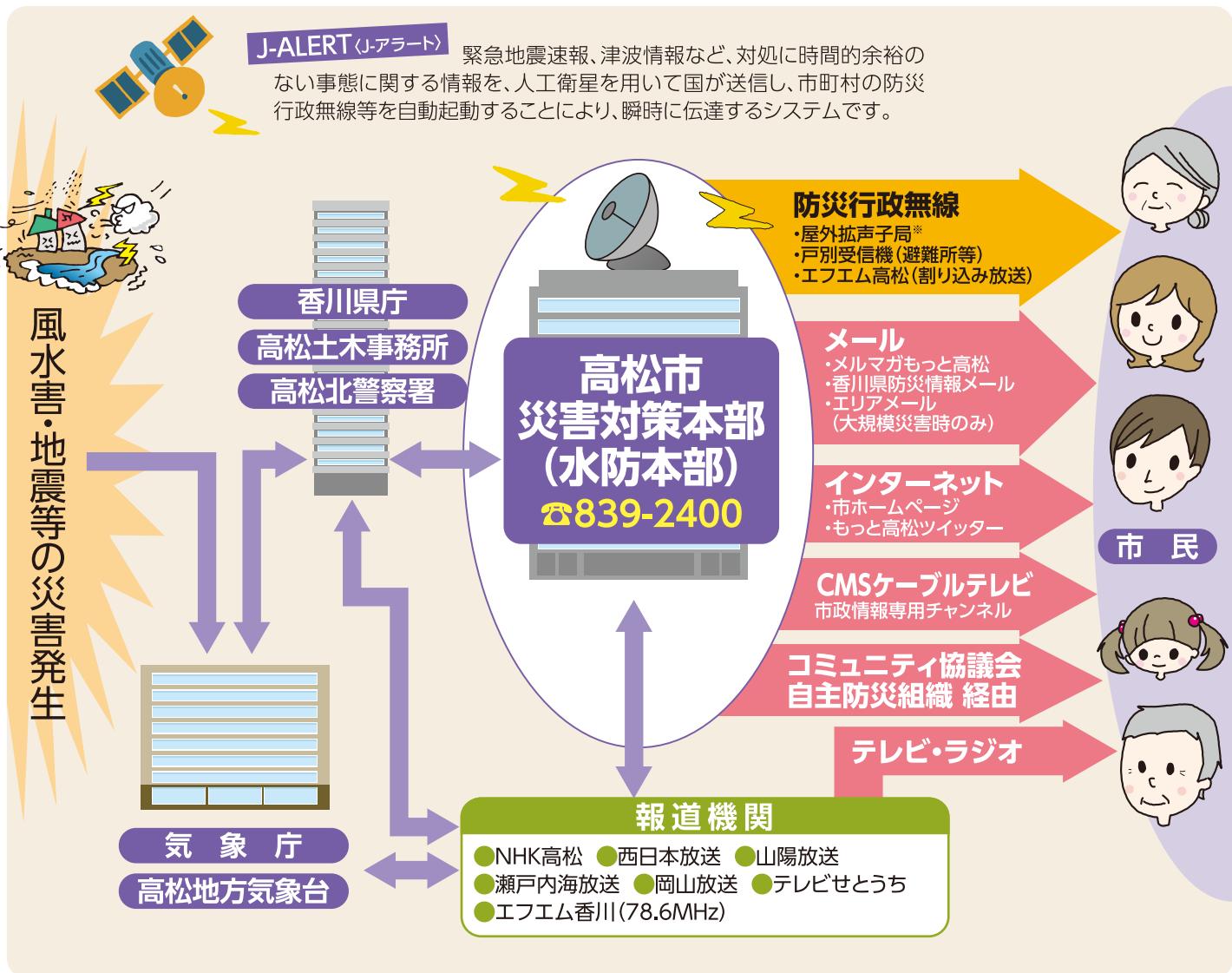




わが家の防災情報収集

緊急情報の伝達方法

高松市では、国・県・気象台等から情報を収集し、緊急情報を発信しています。そこで重要なのは、何か身の回りで異変があった場合は、積極的に情報を収集する習慣を身に付けることです。緊急情報を入手することで、以後の適切な対応を取ることが可能になります。



もしもの時の情報

災害時の緊急放送

災害の発生する可能性がある場合には、防災行政無線などで周知。放送が聞こえたら、テレビやラジオの情報に注意してください。

避難勧告発令時の鳴り方

サイレン1分間→停止5秒間→サイレン1分間→音声による広報

避難情報 人的被害が発生するおそれ、又はそのおそれが非常に高い場合に発令します。

避難準備情報 特に避難行動に時間を要する方は避難を始めてください。

避難勧告 安全なところへ避難してください。

避難指示 避難していない方は直ちに避難もしくは命を守る行動をとってください。

必要な判断 避難勧告が発令されていても、身の危険を感じたら避難を始めること。

強い雨や、浸水により避難所へ行くことが難しいときは、自宅などの上層階に留まること。

サイレンは2回
鳴るって事ですね





地 震

震源地・震度を知りたい



水 害

雨量を知りたい

潮位を知りたい

河川の水位を知りたい

メール配信サービス

避難情報や
気象警報・注意報の
発令・解除を知りたい

市が発信する緊急情報や、
災害対策本部の設置等を
知りたい

気象に関する情報は、高松地方気象台の
ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>

かがわ防災Webポータル

<http://www.bousai-kagawa.jp/>

役立つ情報満載です!!



香川県防災情報メールの登録

携帯メール等で、気象情報や避難情報等を受け取ることができます。



メルマガもっと高松

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/j/urgency/mailmaga.html>

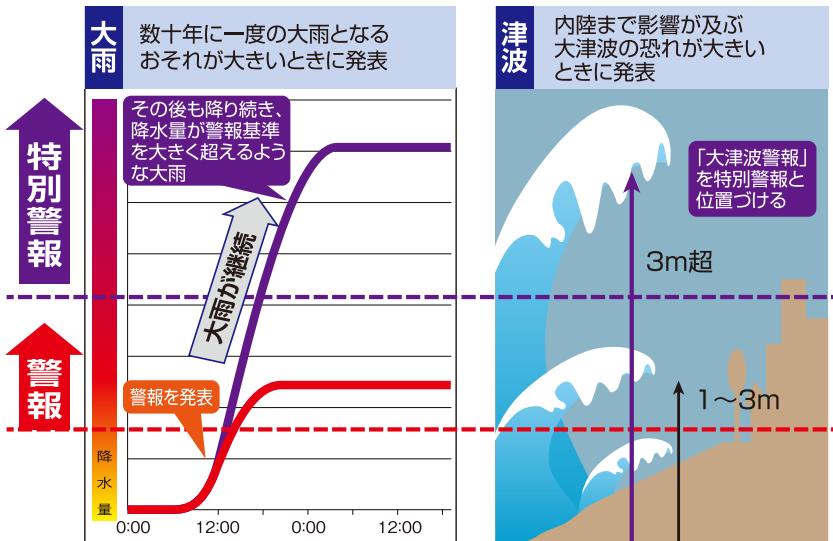


高松市公式ホームページ『もっと高松』▶消防・防災情報▶防災メール配信▶
高松市防災緊急情報サービスについて▶「メルマガもっと高松」はこちらから



「特別警報」が
発表されたら、ただちに
命を守る行動を
とってください。

大雨、津波警報等の発表基準をは
るかに超える豪雨や大津波等が予
想され、重大な災害の危険性が著
しく高まっている場合に気象庁よ
り「特別警報」が発表されます。



特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。